

第一号議案

I 令和7年度事業報告

1. 1年間の協会活動

4月20日 千葉市少年自然の家主催 春のわいわいフェスティバルへ出店

4月21日(月): 万博ボリビアナショナルディへの参画

大阪・関西万博のナショナルディ式典に、チョケワンカ副大統領出席のもと参加。協会からは椿会長ほか役員5名が参加し、上崎雅也常務理事の声掛けを中心に関係者100名以上が出席し盛大な式典となった。



4月28日 令和7年度第1回理事会実施

電磁的方式にて開催。令和6年度事業報告、決算報告及び監査報告承認の件や令和7年度事業計画及び収支予算書報告の件などを書面決議にて実施・承認した。

5月24日 令和7年度定時総会開催

千代田区立九段生涯学習館にてハイブリッド方式で開催。16名(対面:15名、リモート:1名)が出席し、令和6年度事業報告、決算報告及び監査報告承認の件や令和7年度事業計画及び収支予算書報告の件などを審議し、全ての議案の賛成を得て承認された。

6月6日 ラテンアメリカ関連団体連絡会に出席

リモートにて開催され、細萱恵子常務理事が出席し情報交換を行った。ボリビア協会設立時の資料が見つかり、日本で最初の外務省認可の団体であることが分かったとの報告がされた。

6月27日 会報「Kantuta」第60号『ボリビア独立200周年記念第1号』の発行

9月25日 会報「Kantuta」第61号『ボリビア独立200周年記念第2号』の発行

10月15日 大阪市上福島小学校においてボリビアのお菓子の調理実習



万博ナショナルデーに参加いただいた上福島小学校で家庭科授業にて、ボリビアのお菓子を調理する企画があるが、講師を紹介してほしいとの仲介会社からの依頼があり、Daysi Hasegawa氏を紹介し、実施の運びとなった。クニャペとキヌア団子を作った。

10月26日 千葉市少年自然の家主催 秋のわいわいフェスティバルへ出店

大川理事が出席し、ブースにてボリビアの物品を展示、販売した。

11月9日 2025 インターナショナル・フェスティバル in カワサキに協賛参加

日本ボリビア協会も協賛し、パンフレットに当協会のロゴが掲載された。



11月24日 オンライントークイベントの開催

ゲストに東京大学 宮地隆廣教授をお招きしオンラインにてトークイベントを開催した。当日は40人ほどの参加者をえて、『南米ボリビア政治のこれまでとこれから：大統領・議会選挙を終えて』と題した講演をお聞きした。

12月20日 年末交流会の開催

駐ボリビア日本大使館 折原新大使、駐日ボリビア多民族国大使館 マウリシオー一等書記官からご挨拶をいただき、その後、会員の発表の時間を設けボリビアにまつわる自身の活動などお話いただいた。

12月30日 会報「Kantuta」第62号『ボリビア独立200周年記念第3号』の発行



2025年に行われたボリビア大統領・議会選挙は、同国の民主主義と社会運動のあり方を改めて問い直す出来事となりました。先住民の政治参加、地域格差、経済政策をめぐる対立など、ボリビア政治は常に変化の渦中にあります。本セミナーでは、ラテンアメリカ政治・比較政治学を専門とする東京大学大学院の宮地隆廣教授をお迎えし、今回の選挙結果を手がかりに、ボリビア政治のこれまでとこれからを分かりやすく解説いただきます。

2025年11月24日 月・祝 10:00～11:00頃
オンライン開催 (受付開始 9:45)

講師プロフィール



東京大学大学院総合文化研究科教授。2009年、東京大学大学院総合文化研究科単位取得満期。2011年、同大学院にて博士(学術)取得。専攻は比較政治学、ラテンアメリカ政治。ラテンアメリカ諸国における政治参加の比較研究を行う。主要著書に『解釈する民族運動 構成主義によるボリビアとエクアドルの比較分析』(東京大学出版会、2014年)、『世界中のラテンアメリカ政治』(対方周一郎との共著、東京外国語大学出版会、2023年)。発展途上国研究奨励賞(アジア経済研究所、2015年)、ラテン・アメリカ政経学会研究奨励賞(2015年)を受賞。

Zoomによるオンライン開催
参加費無料 事前予約制

参加申込URL

参加申込QRコード

主催

<https://forms.gle/GTdroM4mbzXb1RMn9>



一般社団法人 日本ボリビア協会
HP <https://nipponbolivia.org/>
MAIL admin@nipponbolivia.org

2026年2月1日 国分寺市恋ヶ窪公民館にて出張講義を実施



国分寺市恋ヶ窪公民館が主催した「アンデスのくに お話と音楽の旅」と題した多文化共生講座に椿秀洋会長が招待され、ポリビアについて講演を実施した。幅広い年齢層から多数の応募者を得て、出席者には遠いアンデスの国について身近に感じてもらい充実した時間を過ごしていただけた。

2月23日 日本ポリビア協会後援：多古町ラテンミュージックフェスタ開催



千葉県多古町で開催された第四回ラテンミュージックフェスタを後援。吉田憲司常務理事、大川裕司常務理事が出席した。協会のパンフレットを受付に置かせていただいた。

3月1日 「南米料理を楽しむ会」

千代田区立スポーツセンターにて開催。ポリビア人料理家（Daysi Hasegawa氏）を講師に迎え、30名以上の参加者を得て、懐かしい家庭料理として挙げられる「guiso de carne」「ensalada de quinua」「alfajores」の調理に挑戦し、ポリビアのワインと併せながら、食事と懇談を楽しんだ。



3月18日 ラテンアメリカ協会主催：新春懇談会

19時～21時、三菱クラブ（三菱ビルディング21F）において、ラテンアメリカ・カリブ諸国の駐日大使等が参加し、懇親会を実施された。椿秀洋会長及び上崎雅也常務理事が参加した。

3月22日 令和7年第2回理事会

新橋駅前ビル1号館にて、令和8年度事業計画案、収支予算案などについて、理事監事12名が出席し、来年度事業計画について活発な討議を行った。

3月26日 会報「Kantuta」第63号『ポリビア独立200周年記念第4号』の発行

2. 広報活動

(1) 会報誌「Kantuta（カントウータ）」の発行

60号（2025年6月）、61号（同9月）、62号（同12月）、63号（2026年3月）と4回発行した。2025年はボリビア独立200周年に当たり、この1年間「ボリビア独立200周年記念号」とし、4号発行した。会員全員へ冊子版を送付するとともに、ラテンアメリカ二国間協議会のメンバー会員組織、IDB、外務省中南米課、JICA 中南米課及び国内外のボリビア関係団体へもメール版または冊子を配布した。協会ホームページでも随時見ることができるようアップロードしている。

(2) ホームページ・SNSの運営

ホームページは随時更新し、充実を図っている。2025年の万博ボリビアデーにおけるフォルクローレやダンスの動画もアップロードしている。SNSは当協会公式アカウントでFacebookを発信している。2国間親善団体のHPとしては充実した内容を発信し、アクセスも徐々に増加しつつある。

ボリビアの国花であるカントウータ(学名 *Cantua Buxifolia*) は、アンデス高地で見られる顕花植物で、ボリビアで愛される国花となっていることから本協会の会報誌の名前となっている。

細長い管状の花には、「三色カントウータ *La Kantuta tricolor*」として知られる種があり、これは赤い花びら、黄色い花筒、緑の萼を持ち、ボリビア国旗の赤・黄・緑を思わせることから、この3色をHP及びKantutaのイメージカラーとして採用している。

3. 協会が主催するイベント事業活動

(1) オンライン・トークイベント

2025年10月にボリビア大統領選の決選投票が行われ、約20年間続いた左派の社会主義運動党(MAS) 政権が終わりを迎えた。そこで、ラテンアメリカの政治に詳しい東京大学 宮地隆廣教授をゲストにお招きし、『南米ボリビア政治のこれまでとこれから：大統領・議会選挙を終えて』と題しオンラインにてトークイベントを開催した。旬なテーマであったこともあり当日は40人ほどの参加者をえて、宮地先生の分かりやすいお話に耳を傾けた。

(2) 年末交流会の開催

12月20日(土) 東京日本橋の「Alice Tokyo」にて、計38名の参加をいただき、恒例の協会交流会を開催した。交流会には、本年新たに駐ボリビア日本大使となられる折原茂晴様をはじめ、外務省中南米局の皆様、また駐日ボリビア多民族国大使館からはマウリシオ一等書記官他関係者皆様の参加をいただき、新大使と一等書記官からはボリビアの現在とこれからについて、最新のお話を伺

うことができた。

(3) ボリビアに関心を有する団体への出前講座

2026年2月1日 国分寺市恋ヶ窪公民館が主催した「アンデスのくに お話と音楽の旅」と題した多文化共生講座に椿秀洋会長が招待され、ボリビアについて講演を実施した。幅広い年齢層から多数の応募者を得て、出席者には遠いアンデスの国について身近に感じてもらい、充実した時間を過ごしていただけた。

(4) 南米料理を楽しむ会の開催

2025年3月1日〈日〉千代田区スポーツ・センター7階調理教室において、午後1時半から4時半まで「南米料理を楽しむ会」が開催された。今年度はサンタクルス出身の Daysi Hasegawa 氏に講師として料理指導を行っていただいた。料理は Guiso de carne と Ensalada de quinua、デザートとして Alfajores を調理した。

参加者は32名で、各グループに分かれて協力し合いながら調理をし、無事時間内に出来上がり、それぞれ懇談しながらボリビア料理を堪能した。また維持会員のマックス建材株式会社さんが扱っているボリビアワインをいただき、盛会のうちに終了した。

ラテンアメリカ協会イベント情報へのアップロードや、ラテンアメリカ二国間協議会のご協力で広く周知をいただき、会員のみならず、二国間協議会の皆様や多くの非会員にもご参加いただいた。

4. 関係諸団体との連携協力促進

駐日ボリビア多民族国大使館、在日ボリビア人、移住帰国者などと連携し、各コミュニティの文化・交流イベントを通じ積極的に交流を深めた。

具体例：

- ・前述の4月21日（月）：万博ボリビアナショナルデーの式典では「ひょうごラテンコミュニティ」や「国際交流協会」関係者の協力を得て100人を超える出席者に参加いただいた。
- ・千葉県多古町の観光まちづくり機構が主催する「ラテンミュージックフェスタ」を駐日ボリビア多民族国大使館、JICA、在日ボリビア人・ボリビア関連支援団体などとともに後援、一部役員を派遣して参加した。
- ・ラテンアメリカ関連団体連絡会を通じ中南米の各二国間友好団体との情報共有を行い、会員には他協会のイベントをご案内すると同時に、当協会の主催事業や駐日ボリビア多民族国大使館、JICA、IDB（米州開発銀行）などから発信される情報を会員に発信している。

5. マスコミ・メディアなど外部団体からのボリビア関係問い合わせへの協力

4月17日 国章の中に描かれている動物についての照会があり、2009年8月5日に発布された最高政令第241号第21条を紹介して、変遷の後にリヤマである旨回答した。

4月20日 ポリビア旅行中の邦人から日本語を解する信頼できる歯医者を紹介して欲しいとの緊急相談があり、ラパスとサンタクルスで開業している歯医者を経営者の同意を得た上で紹介した。

6月6日 アイマラ語の発音について照会があり、アイマラ語に造詣の深い大学教授に照会者から直接連絡しても良いか照会したが回答がなかった。

6月27日 立教大学ラテンアメリカ研究所より同研究所が7月12日に開催する「日本とポリビアの絆移住と国際協力から見る関係史」と題する講演会についての広報依頼があり、当協会のHPに本件講演会の内容をアップするとともに会員各位及びラテンアメリカ協会にメールで案内した。

7月15日 テレビ朝日より同局が翌日朝のニュース番組の中で当協会のHPの内容を番組中の解説資料として使用させてもらっても良いでしょうかとの照会があったが、HPに掲載している「たばこと塩の博物館」の資料の抜粋だと思われたので、当協会HPもさることながら最新データは外務省のHPを参照された方が良くして外務省HPの当該ページのURLを紹介した。

7月16日 米州開発銀行(IDB)アジア事務所より芹生所長がポリビア経済について話を聞きたいと希望しているとの要請があり、在京ポリビア大使館には臨時代理大使が離任して適任者がいなかったため、椿会長が最新データを収集した上で後日説明した。

8月4日 フジテレビより同局の朝の情報番組「ノンストップ」で、ポリビア警察200年を祝う犬のレースを取り扱いたいとして映像の入手方法を照会してきたので、当協会は映像は有していないので、局の系列は違うがABEMAや在京ポリビア大使館に照会しては如何と回答した。

9月1日 日本在住でサンフアン移住地出身の方から娘がポリビアの看護師資格を有しているが、日本の看護師資格を得るための受験準備を進めているが、在京ポリビア大使館の確認が必要な書類があり、大使館への連絡を試みているが連絡がつかないがどうすれば良いかとの相談があった。当協会大使館の代表番号ではない領事担当官の携帯番号を入手し、同番号に架電するよう慫慂した。また代表番号で応答がある場合に繋いでもらうべき領事担当官の名前を教示した。

9月3日 大阪のコンサルティング会社より大阪市立上福島小学校が11月11日に開催する「ポリビアデイ」というイベントの中で行うポリビア料理の調理実習の講師を紹介して欲しいとの依頼があり、関係方面にも照会の上、相応しいと思われる在日ポリビア人女性を紹介した。

9月7日 日本在住のポリビア国籍者から在京ポリビア大使館の認証が必要な委任状があるが、大使館に連絡できないとして相談があったので、内容を確認するとともに大使館の領事担当官の氏名と携帯番号を教示した。

10月28日 JICAより11月19日に開催する海外移住エッセイ評論部門で最優秀賞を受賞した作品のオンラインセミナー「ボリビア・リベラルタとともに生きた日本人一下瀬甚吉一」についての案内があったのでメールを通じて会員各位への周知を図った。

10月29日 早稲田大学人間科学学術院生より『ボリビアに生きる』を入手したいとして入手方法についての照会があり、残存しているスペイン語版の入手方法を教示した。

11月12日 名古屋市立新郊中学校の教諭より同教諭が顧問を務めている同校リコーダー部が、保育園や病院、老人ホーム等で演奏を希望するフォルクローレの楽曲『チューニョの花の咲く頃に』の楽譜を入手したいとの相談があり、当協会では調査の上、当該楽譜が入手できるサイトを紹介した。

12月9日 『ラパス日本人会 90年の記録 1922-2012』を入手したいと購入希望が寄せられた。当協会には在庫がなく、ラパス日本人会にも在庫はないとの由だったので、資料として参照するのであればとしてJICA 横浜 海外移住資料館の図書室を勧めた。

本年度は、NPO 法人や一般社団法人、一般財団法人、民間企業等からの勧誘メールが例年よりはるかに多く寄せられた。

II 令和7年度予算執行状況

年間収支計算書

令和7(2025)年度収支計算書

一般社団法人 日本ポリビア協会

令和8年3月31日

収入の部

(令和7年4月1日-令和8年3月31日 単位:円)

科目	年度予算	年度実績	予算・実績差額 (予算額 - 実績額)	予算 達成率	実績額についての備考
会費収入	1,087,000	1,163,000	76,000	107.0%	個人・維持会員 合計
個人会員	337,000	413,000	76,000	122.6%	新会員含め65名納入(定額以上¥76,000-) 6団体全納(定額以上¥570,000-含む)
維持会員	750,000	750,000	0	100.0%	
事業収入	143,000	149,000	6,000	104.2%	イベント参加費(料理会¥49,000-交流会¥100,000-)
雑収入	2,500	8,820	6,320	352.8%	口座利息:利率増のため
収入合計	1,232,500	1,320,820	88,320	107.2%	
前期繰越金	4,481,932	4,481,932			
支出の部					
科目	年度予算	年間実績	予算・実績差額 (予算額 - 実績額)	予算 消化率	実績額についての備考
1. 管理費					
通信運搬費 他	10,000	6,970	3,030	69.7%	ゆうパック¥2,580-、宅配便送料¥4,280-
交通費	200,000	221,600	△ 21,600	110.8%	会議参加費¥115,000-万博移動費¥100,000-他 イベント参加費¥6,600-
事務管理費等	60,000	19,946	40,054	33.2%	登記¥0- 会議会場費¥13,201-振込料¥2,695- コピー印刷費¥4,050-他
雑費他	10,000	20,189	△ 10,189	201.9%	会議茶代¥1,995-臨代贈答品¥18,194-
管理費合計	280,000	268,705	11,295	96.0%	
2. 事業費					
イベント開催費	450,000	358,756	91,244	79.7%	出張講師代¥20,000-、料理会¥118,944-、交流会 ¥217,008-、OnLine話会¥2,804-
友好親善費	150,000	68,000	82,000	45.3%	ラ米行事への参加費¥18,000-・ラ米協会会費 ¥10,000-、映画クラファン・協賛金¥40,000-
ホームページ維持管理費	90,000	88,160	1,840	98.0%	HPメンテSE作業費6万円、HPサーバー使用料 ¥23,760-、ドメイン更新料¥4,400-
コントクタ発行費	200,000	224,300	△ 24,300	112.2%	年間4回発行(値上等)
事業費合計	890,000	739,216	150,784	83.1%	
3. 予備費	100,000	0	100,000	0.0%	
支出合計	1,270,000	1,007,921	262,079	79.4%	
次期繰越金	4,444,432	4,794,831	350,399	107.9%	

一般社団法人 日本ポリビア協会

貸借対照表

令和8(2026)年3月31日

資産の部		負債の部	
現金	0	未払金	0
預金	4,794,831	前受金	0
資産合計	4,794,831	負債合計	0
正味財産の部			
指定正味財産			0
一般正味財産			4,794,831
正味財産合計(次期繰越額)			4,794,831
(正味財産 当期増減額)			312,899

財産目録

令和8(2026)年3月31日

資産の部		負債の部	
現金	0	未払金	0
預金	4,794,831	前受金	0
三菱UFJ銀行	4,759,440		
ゆうちょ銀行	35,391		
資産合計	4,794,831	負債合計	0
正味財産			4,794,831

正味財産増減計算書 (令和7年4月1日～令和8年3月31日)

区分	期首残高	期末残高	増減
現金	0	0	0
預金 三菱UFJ銀行	4,438,498	4,759,440	320,942
ゆうちょ銀行	43,434	35,391	△ 8,043
預金小計	4,481,932	4,794,831	312,899
合計	4,481,932	4,794,831	312,899

III 監査報告書

令和7年(2025年)度監査報告書

一般社団法人 日本ポリビア協会
会長 椿 秀洋 殿

私たち監事は、当協会の令和7年(2025年)4月1日から令和8年(2026年)3月31日まで令和7年度(2025年度)における日本ポリビア協会の活動について監査を行いました。その結果を一般社団法人及び、一般財団法人に関する法律 99 条第 1 項(一般社団法人、及び一般財団法人に関する法律 197 条において準用する同法 99 条第 1 項)及び、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 36 条及び第 45 条(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則 64 条において準用する同規則 36 条及び 45 条)の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容



私たち監事は、理事と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事からその職務について報告を受け、重要な決裁書類を閲覧し、当協会の業務及び財産の状況について調査しました。

上記の方法により、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当協会の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録などの監査
計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当協会の財産及び損益の状況を全て重要な点について適正に表示しているものとも認めます。

令和8年(2026年)4月23日

監事 小林正博 
監事 黒澤祐 

I 令和8年度事業計画

基本方針

本協会は、日本とボリビアとの間の経済、技術、文化などの協力提携の緊密化を図り、もって両国の友好親善関係の増進及び相互の繁栄に寄与することを目的としている。両国関係者・団体の相互理解と友好親善を積極的に促進し、当協会の使命である民間における両国関係の発展・強化・促進を目指すため、必要な活動を行っていく。また、外務省、駐日ボリビア多民族国大使館、一般社団法人ラテンアメリカ協会など関係機関・組織及び在日ボリビア人団体、ボリビアと関係が深い民間企業、当協会会員、在日ボリビア人関係者と連携を図ることとする。

1 広報事業

ホームページ、SNS、会報等の広報活動を通じて会員とボリビアに関心を寄せる一般個人の活動への参加を促進する。

(1) 会報誌「Kantuta（カントウータ）」の発行

ボリビアの政治・経済・社会・文化に関するホットなニュース、エッセイ、論文、紀行など、幅広いテーマを集め、年4回発行していく。会員には冊子を配布し、HPで公開して、広く読まれ、多くの人にボリビアを知ってもらう機会を提供する。

(2) ホームページ、SNSを活用した発信力の強化

協会において収集整備した情報を速やかに、HPを通じて公開する。SNS（X（旧Twitter）、Facebook、Instagram）の日本ボリビア協会公式アカウントを通じた発信を行う。会員のみならず、広く一般個人・企業・団体へ訴求できるようにし、日本ボリビア協会の認知を高め、興味のある人々、企業の参加を促進できるようにする。

2. 協会のイベント事業

(1) 交流会

- ・会員相互の親睦を深めるため、新年交流会もしくは年末交流会を開催する。
- ・名古屋・大阪など関西圏や地方在住の会員との相互の親睦を深め、協会の活動を知ってもらうことと、関西圏の活動の実情を知る良い機会とするため、夏に大阪、神戸などで交流会を開催する。

(2) 南米料理を楽しむ会

南米（ボリビア等）料理を作ってみる、食べてみる、ことでボリビアに親しむ会。会員同士の親睦になると同時に、一般の料理に興味を持つ方、中南米文化に興味を持つ方に参加してもらい、協会を広く認知してもらうことを目的とする。

(3) オンライン・トークイベント

遠方に住む会員や非会員にも気軽にイベントに参加していただける機会を設けるため Zoom 等を利用して、ボリビアに関するオンライン・トークイベントを行う。ボリビアに見識の深い日本在住の会員らに歴史、社会経済、文化などのテーマを決め、講演をお願いし、ホットなボリビア情報の提供や会員同士の情報交換を予定している。

(4) 映画会

ウカマウ映画の新作が手に入れば上映会を開催する予定である。

(5) 中学高校、公的施設や団体等への出前講座

都内の私立学校を中心にボリビアとはどのような国か知ってもらうよう、教育機関への出前講座を実施する。また公民館など公的施設や団体が主催する勉強会や講演会への出前講座も求められれば実施する。

HP にて広報し、依頼があった場合には理事会役員や青年海外協力隊経験者などに講師を依頼する。

3. 研究支援事業

当協会の前副会長であった故今村忠雄氏が遺したボリビア移民、移住関係の貴重な資料を、ご遺族の好意によりボリビア協会へ提供されたことから、この資料を広く多くの研究者やボリビアに興味を持つ人々に活用してもらい、ボリビア移民、日系人研究等を支援する目的として、研究支援事業を行う。

◎ボリビア研究支援基金として3年間90万円の支出を計画する。

◎3年間の研究支援内容

- I 資料のデータベース化
- II 研究助成
- III 成果の見せる化
- IV ボリビア研究者との連携

以上の研究支援内容の内、本年（1年目）の令和8年度事業計画は以下のとおりである。

I 資料のデータベース化（4月～7月）

目的：研究者やボリビアに興味を持つ人がアクセスしやすい形を整える。

- ① 資料にメタデータを付与（年代・人物・場所・テーマなど）し、分類する。
- ② 簡易検索できるようリスト化する

II. 資料の見せる化（8月～11月）

目的：・研究者やボリビアに興味を持つ人がアクセスすることができる

- ・一般の認知が上がる
- ・協力者が増える
- ① ボリビア協会 HP に「資料館」を作る
- ② テーマ別に資料を紹介
- ③ 資料を基にしたオンライントークイベントを開催する

III.研究助成募集事業（12月～3月）

- ① HP 上で研究助成希望者を募集する
- ② 資料を基にした研究を助成（未発表研究を対象とする）
- ③ 対象分野例
 - ・ ボリビアへの日本人移住史
 - ・ 日系人社会の形成と変遷
 - ・ 農業移住、工業移住
 - ・ 開拓の実態
 - ・ アイデンティティ・文化継承
 - ・ 日本とボリビアの交流史
 - ・ オーラルヒストリー記録
 - ・ そのほか、本協会が適当と認めるテーマ
- ④ 研究助成金額 10万円（初年度）
- ⑤ 研究助成期間 2027年1月～12月
- ⑥ 研究結果は Kantuta で発表する。

以後2年目から3年目においては研究助成募集事業および成果の見える化事業を行う。
3年の研究助成事業が終了後、次のステップとして論文集の発刊事業を行う予定。

4. 対外活動

（1）関係諸団体との連携協力

駐日ボリビア多民族国大使館、在日ボリビア人、移住帰国者などと連携し、各コミュニティの文化・交流イベントを通じ積極的に交流を深める。

具体例： 駐日ボリビア大使館主催の行事、在日ボリビア人、ボリビア関連支援団体が開催する行事（川崎市のインターナショナル・フェスティバル、千葉県多古町まちづくり機構によるラテンミュージックフェスタなど）。

ボリビアの政治・経済・文化、日系人などの情報提供と支援体制を日ボ両国の政府機関（大使館・JICA・JETRO）や商工会議所などの協力を得て整備し、希望者に提供・支援する。

（2）ボリビア関係情報の提供・支援体制の整備充実

ボリビア日系協会連合会とボリビア全国各地の日本人会などの関係組織・団体や、各個人との友好親善関係の維持発展に努めると同時にその活動を支援する。

ボリビア関係情報の提供を通じて、日本のマスコミ・メディアへボリビアに関するPR広報を働きかけ、日本におけるボリビアの文化・社会・経済・政治への理解や認識の向上を図る必要な活動を実施する。

令和8（2026）年度予算書

(令和8年4月1日～令和9年3月31日 単位：円)				
収入の部				
科目	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度予算額	備考
前期繰越金	4,068,184	4,481,932	4,794,831	
会費収入	1,059,000	1,163,000	1,170,000	
個人会員	309,000	413,000	420,000	
維持会員	750,000	750,000	750,000	
事業収入	123,000	149,000	280,000	交流会東京：4000円×40名＝160,000円 交流会関西：4000円×15名＝60,000円 料理の会：2000円×30名＝60,000円
雑収入	2,145	8,820	19,000	
収入合計	1,184,145	1,320,820	1,469,000	
支出の部				
科目	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 予算額	備考
1. 管理費				
通信運搬費 他	3029	6,970	10,000	従前からの予算額で対応可能
旅費	0	221,600	384,200	理事会総会：5000円×14名×2回＝140,000円 監査：5000円×7名＝35000円 関西交流会交通費：30,000円×4名＝120,000円 宿泊費：14,800円×4名＝59,200円 出前講座等の役員の活動に伴う交通費：30,000円
事務管理費等	108,351	19,946	45,310	Zoom代：14,020円 議案書郵送料：430円×3名＝1,290円 理事会総会監査等会場費：30,000円
雑費他	543	1,995	10,000	コピー、事務用品、お茶など
管理費合計	111,923	250,511	449,510	
2. 事業費				
イベント開催費	356,924	338,756	545,000	交流会東京：6000円×40名＝240,000円 交流会関西*6000円×15名＝90,000円 料理の会：3500円×30名＝105,000円 イベントマネジメント：80,000円 講師謝金30,000円（3回分）
友好親善費	40,000	106,194	102,000	ラテンアメリカ協会会費：10,000円 ラ米会合：22,000円 ポリビアフェスティバル後援など：50,000円 そのほか参加費入場料など：20,000円
ホームページ維持管理費	87,520	88,160	74,000	ドメイン、サーバー代：14,000円 HP更新作業業務費：60,000円
カントウタ発行費	174,030	224,300	380,000	印刷配送費：55,000円×4回＝220,000円 編集業務一式：40,000円×4回＝160,000円
研究支援			340,000	研修資料のデータベース化とHP資料館開設（160,000円）研究助成金（100,000円） 募集・選定・マネジメント（80,000円）
事業費合計	658,474	757,410	1,441,000	
3. 予備費	0	0	100,000	
支出合計	770,397	1,007,921	1,990,510	
次期繰越金	4,481,932	4,794,831	4,273,321	

注：研究支援は3年間にわたる総額90万円の予算額の内、本年度34万円を支出する予算案です。

事業計画案によれば、研究支援は、2年目：28万円 3年目：28万円の支出を予定しています。

第三号議案

会員入退会の報告の件

前年度末（2025年3月31日）

個人会員 87名

維持（法人）会員 6社

前年度末（2024年）議決権総数 93

当期入会（2026年度）

個人会員 11名

維持（法人）会員 0社

当期退会

個人会員 9名 （定款第10条「会員資格の喪失」において、2年以上会費の支払い義務を履行しなかった場合に喪失、との規定より退会処理をした会員を含む）

維持（法人）会員 0社

当年度末（2026年3月31日）

個人会員 89名

維持（法人）会員 6社

当年度末（2025年）議決権総数 95

当期議決権増減 +2

名誉会員 嘉手苺義男 1名

第四号議案

役員改選の件

1. 退任

理事 宮地隆廣理事は 2025 年 10 月に退任

2. 新任

理事 小原 学

3. 重任

理事 椿 秀洋

森下 鉄夫

長嶺 為泰

大貫 良夫

田中 純一

宮城 信彦

永井 和夫

吉田 憲司

八杉 哲

上崎 雅也

大川 裕司

細萱 恵子

監事 小林 正博

黒澤 啓

以上敬称略

令和8年度（2026年）会費の納入をお願いします

当協会の活動は会員の皆様方の会費と寄付に支えられております。今後、活動をさらに強化していくためにも、引き続き会員継続と会費の納入をよろしくお願い申し上げます。

個人会員 年会費 3,000 円

維持会員 年会費 30,000 円

納入先「振込口座」

三菱 UFJ 銀行 西新宿支店 普通預金口座 4886040

名義人：一般社団法人 日本ポリビア協会 シャ)ニッポンポリビアキョウカイ

ゆうちょ銀行 記号:10160 番号:79339371

名義人：一般社団法人 日本ポリビア協会 シャ)ニッポンポリビアキョウカイ